

授業科目名 (英文表記)	会社法特殊問題 (Company Law)		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	清弘 正子		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回	4月12日(土)	9:00~12:00
	第2回	5月17日(土)	9:00~12:00
	第3回	5月24日(土)	9:00~12:00
	第4回	5月31日(土)	9:00~12:00
	第5回	6月14日(土)	13:00~17:00
	第6回	6月28日(土)	13:00~17:00
	第7回	7月5日(土)	13:00~17:00
<p>【授業のねらい・概要】 「会社法」に関する判例研究を行い、これを通じて、会社法制についての理解を深めます。 担当者による報告および受講者全体による討論によって講義を進めます。報告のテーマは、原則として、教科書に掲載の判例から選択します。なお、受講生との相談により、教科書は変更する可能性があります。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回 インTRODクシヨン ・各自の報告テーマの決定 ・会社法関連の資料の探し方 ・各自の報告テーマに関する議論および講義(概説)</p> <p>第2回 会社法判例研究1ー判例報告および受講者全体による討論 ・題材例:「取締役の注意義務と経営判断原則」等</p> <p>第3回 会社法判例研究2ー判例報告および受講者全体による討論 ・題材例:「内部統制システム」等</p> <p>第4回 会社法判例研究3ー判例報告および受講者全体による討論 ・題材例:「株主代表訴訟の対象となる取締役の責任」等</p> <p>第5回 会社法判例研究4ー判例報告および受講者全体による討論 ・題材例:「公正な会計慣行と取締役等の責任」等</p> <p>第6回 会社法判例研究5ー判例報告および受講者全体による討論 ・題材例:「差別的行使条件付新株予約権の無償割当て」等</p> <p>第7回 会社法判例研究6ー判例報告および受講者全体による討論 ・題材例:「帳簿閲覧請求の拒絶事由」等</p> <p>【到達目標】 会社法制に対する論理的理解を深めることを目標とします。</p> <p>【教科書】 ・江頭憲治郎ほか編「会社法判例百選 第2版」(別冊ジュリスト205号)、2011年、ISBN 978-4-641-11505-7 ・六法(2014年版)('ポケット六法(平成26年度版)')有斐閣等</p> <p>【参考書】 ・大隅健一郎・今井宏・小林量「新会社法概説 第2版」有斐閣、2010年 ・江頭憲治郎「株式会社法 第4版」有斐閣、2011年 ・吉本健一「会社法」中央経済社、2010年 ・木俣由美「VIRTUAL会社法〔第3版〕」悠々社、2008年</p> <p>【成績評価方法】 報告内容、討論への参加状況・貢献度により、総合的に評価を行います。</p> <p>【授業時間外学習】 会社法に関する学部レベルの知識を有することを前提に、講義および評価を行います。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 ・第1回目の講義で各自の報告のテーマおよび日程を決定します。やむを得ず欠席した場合は、できる限り早く、メール等により受講の意思および希望する報告テーマを連絡すること。この連絡がない場合は、以降の受講を認められません。 ・やむを得ず欠席・遅刻する場合には、事前に連絡のこと。なお、報告担当者の無断欠席は、履修放棄とみなします。 ・議論に積極的に参加してください。</p>			